



薩摩硫黄島の硫黄岳

硫黄岳の山頂火口からは火山灰を含む火山ガスが連続的に放出されている。山腹には多数の噴気がある。また、背後には竹島および昭和硫黄島が見える。



口永良部島の新岳火口周辺の様子

火口の東方より撮影。東斜面の割れ目から1945年および1980年に水蒸気爆発が発生した。火口の縁および西側には噴気を伴う熱異常域が存在する。

(撮影：井口正人，撮影協力：鹿児島県防災航空センター，2001年2月2日)